

東京病院ニュース

第37号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

「東京病院の二次救急開始に寄せて」

院長 大田 健

平成 24 年 10 月から東京病院に新しい機能が加わりました。それは、二次救急医療です。医療従事者の重要な仕事の中で、急病人への適切な対応ということがあります。しかし、病院という医療機関で対処するには、期待に応えるだけの体制作りが必要です。すなわち、旅行先の電車で「急病人が出ましたが、お医者さんはいませんか?」という放送でそこに駆けつける場合とは、基本的な気持ちは同じでも、当然ながら要求される医療内容は異なるわけです。

当院では、平成 22 年 8 月に東京都から救急医療機関として指定され、可能な範囲で救急医療を行っておりました。救急入院を受け、緊急手術を可能な範囲で行っており、二次救急で要求される医療レベルでの対応をして参りました。これまでの病院スタッフの頑張りとお力が十二分に活かされて、二次救急医療への対応が満足できる形で運用できると確信しております。

外科医 1 名、内科医 2 名、ICU 1 名という体制でチームとしての救急医療を念頭に対処する方針です。すべての分野をカバーすることは、当院の診療科目を考慮すると不可能ですが、近隣の医療機関と連携しながら、適切な救急医療の実行をさらに促進して参ります。その日の当直医の陣容によって、得意不得意を生じ対応出来ないこともあると予想されますが、我々の出来ることには最大限努力して、北多摩北部保健医療圏における二次救急医療の充実に寄与する所存です。

これまでの当院の落ち着いた雰囲気を保ちながら、救急医療においても当院の実力を発揮し、関係各位のご協力の下で地域医療への貢献を実行して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



二次救急医療機関としての取り組み

病棟診療部長 元吉 誠

東京病院には、地域の皆様から様々なご要望が寄せられていますが、このうち、現在力を入れて取り組んでいる重要課題の一つに、救急医療の拡充があげられます。

本院が属する二次保健医療圏は、北多摩北部保健医療圏と呼ばれ、清瀬市、西東京市、東久留米市、東村山市、小平市の5市から成り、約72万人の人口を擁しています。他の圏域同様、救急施設の不足は深刻な問題で、救急車が搬送要請を5カ所以上の医療機関から断られたり、搬送先決定までに20分以上かかるケースは、北多摩北部保健医療圏内だけでも、年間600件以上にのぼっています。

このような地域救急医療の窮状に対し、本院は2010年8月、東京都より救急医療機関としての指定を受け、内科系医師3名、外科系医師1名と共に、看護師、臨床検査技師、放射線技師、薬剤師を加えた当直体制を整えてまいりました。そして本年10月より、東京都指定二次救急医療機関として、東京都休日・全夜間診療事業を受託いたしました。これにより、救急受入病床を毎日確保し、文字通り24時間365日、内科系及び外科系の、入院治療を必要とする中等症救急患者に対応する診療体制を確保する事となりました。

一つの二次救急医療機関で全ての救急領域をカバーする事は困難な状況ではありますが、他の二次救急医療機関や三次救急医療機関と相互に協力しながら、地域の救急医療を支えていきたいと考えております。



新任認定看護師の紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師

雨宮 順子・宮川 恵

私たちは、平成24年6月に皮膚・排泄ケア認定看護師（WOC）の資格を取得しました。皮膚・排泄ケア認定看護師とは、創傷（褥瘡・外傷）やストーマ（人工肛門）、失禁に関しての直接的なケアを行っています。

毎週火曜日に活動を行い、午前中は、ストーマ外来で退院後のストーマケアの支援や日常生活についての相談を受けています。午後には、病棟ラウンドを行い、病棟スタッフ・患者さん・ご家族に適したケアを考慮し実践します。また、褥瘡回診や褥瘡対策委員会を通してリンクナースへの指導や、局所的なケアだけでなく、患者さんの社会背景を考えたケアが行えるように他職種と連携をとっています。褥瘡発生率、尿や便による皮膚障害の減少に努め、ストーマ保有者がより快適に日常を過ごせることを目指して活動をしています。

スキンケアやストーマケア、失禁に関してお困りのことがございましたらご相談ください。



慢性呼吸器疾患看護認定看護師

秋田 馨

平成24年6月に慢性呼吸器疾患看護認定看護師の資格を取得しました。慢性呼吸器疾患看護認定看護師は、呼吸器疾患だけでなく神経筋疾患の患者さんに対し安定期・増悪期・終末期におけるQOL向上に向けて看護の実践、医療スタッフへ指導・相談を行う役割があります。

現在、RST（呼吸サポートチーム）の活動を通して、NPPV（非侵襲的陽圧換気）のマスクトラブルの対応や人工呼吸器離脱に向けて、病棟看護師や他職種とカンファレンスを行い、より良いケアの方法を一緒に考えています。また、呼吸ケアの専門的知識の向上のため、院内外に向け研修を開催しています。

呼吸器疾患は、息苦しさを中心とした症状を持ち、活動範囲が狭くなることで病気が進行することがあります。その中でできるだけ長く在宅で過ごせるように回復を促し、退院後の生活を患者さんと共に考え、他職種と連携しケアを提供していきたいと思えます。



地域連携医交流会

第3回東京病院医療連携交流会を開催致しました。

平成24年6月12日（火）20：30～第3回東京病院医療連携交流会を行いました。15施設の医師・看護師・ソーシャルワーカー、事務職の方にお集まり頂き、貴重な意見交換をすることができました。頂いたご意見を厳粛に受け止め、地域の皆様に愛される病院を構築したいと院長はじめ職員一同、取り組んで参ります。

当日は、特別講演と致しまして4月に就任致しました大田院長の「最新のガイドラインに沿った喘息の治療戦略」の講演、診療科紹介と致しましては、呼吸器内科、リハビリテーション科、耳鼻いんこう科の紹介をさせて頂きました。大田院長は、アレルギー疾患を得意としており、喘息のガイドラインを作成しているところでもあります。喘息の早期診断及び早期治療の手段について、診療実績を含めた貴重な講演でした。地域の喘息の治療にお役に立てますと幸いです。

呼吸器内科の紹介では、肺癌、感染症、COPD、びまん性肺疾患、咯血、真菌症、抗酸菌症、細菌・ウイルス疾患の症例数等を紹介させて頂きました。当院は診療実績も豊富であり、多くの専門医が在籍しております。

リハビリテーション科の紹介では、退院後の機能低下を防ぐための取組等の紹介がありました。円滑でスピーディな患者受入体制を整えたいとのことでもあります。

最後に3月から新設されました耳鼻いんこう科紹介です。今年度、医療機器を購入し、診療体制の強化を図る重点診療科であります。田中医長は、温厚で救急医療にも積極的に取り組んでおります。

東京病院の連携施設は、152施設となり、地域の医療機関・介護保険施設の方々に、日々ご支援を頂いているところでもあります。当院の医療連携室の体制と致しましては、医師1名、看護師2名、ソーシャルワーカー4名、事務職8名、合計15名の体制で多様化する案件に取り組んでいるところでもあります。日々、迅速かつ的確で愛情ある対応を心がけておりますが、至らない点がございましたら、ご遠慮なくお申し付け下さい。

地域の皆様方のご支援を頂き、東京病院の医療連携の充実にその歴史を刻みたいと存じますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



肝疾患談話会の活動



4西病棟 波田野なみ子

東京病院は、肝疾患に関する専門医療施設に位置付けられています。C型肝炎は、慢性の経過をたどり、患者さんは、癌に罹患する前から癌となる恐怖や不安を抱えています。その為、インターフェロン（以下INF）治療中だけでなく、退院後の支援が必要となってきます。平成18年度の4西病棟の看護研究において、INF導入患者の退院後のサポートについて研究し、これが契機となり、東京病院の「肝疾患談話会」が立ち上げられました。

定期的開催を重ね、肝疾患談話会も平成24年8月に25回目を終了したところです。肝疾患談話会は、講義と質疑応答の2部構成です。1部は、「肝臓の働き」や「肝炎」「INF治療」など肝疾患についてと「中高年に起こりやすい病気」についての講義を医師が行い、「生活」に関することや「栄養」に関することについては、看護師や管理栄養士が講義を行っています。2部は、質疑応答の時間を設けています。毎回40人前後の患者さんやご家族の出席があり、和やかな雰囲気の中で活発に質問があり、予定時間を超えてしまうこともしばしばです。会の終了時には、毎回参加者にアンケートをお願いし、その意見を次回の内容に取り入れています。今後も、参加される患者さんやご家族の安心へつながる支援ができるよう企画を充実させていきたいと考えています。



会場風景



後期研修医の自己紹介



奥田 謙一

今年度より、国立病院機構東京病院呼吸器内科で勤務させていただいております奥田謙一と申します。私は北海道で生まれ育ち、大学生活を山形県で過ごし、昨年まで北海道で初期研修を行ってまいりました。この度、呼吸器内科の研鑽を積みたいとの思いから、当院での勤務を希望し南下して参りました。未熟者ではありますが、少しでも呼吸器疾患で苦しい思いをされている患者さんのお力になれるように誠意を持って日々の診療に従事したいと考えております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



河辺 昭宏

4月から呼吸器科専修医をしております河辺です。呼吸器科の患者さんを数多く抱え、また市中ではあまり体験しない結核症例も経験できる病院とのことで当院を研修病院として選択しました。3か月たって振り返ってみると、市中病院では手に余る症例を、上級医の先生方にコンサルトしながら進めていく機会を多くいただき、また看護師や地域連携等とのコミュニケーションもますます重要に感じられてきたところです。今後も当院の豊富な症例を生かした研修をしていきたいと思っております。

専門ドックご紹介

◆ 肺ドック ◆

月曜～金曜（9:00～10:00）1日2名様

料金：26,250円（税込み）

★所要時間：約1時間

当院は、全国でも有数の呼吸器専門の病院として、年間1500例以上のさまざまな呼吸器の疾患を診療しております。

当院の肺ドックは、肺がんを含む肺の病気を早期発見することを目的としており、診断は経験豊富な呼吸器内科専門医が対応いたします。万が一、ドックで異常が見つかった場合でも、当院において専門的な治療を行うことができます。

! 肺ドックで見つかる病気

肺がん、結核、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、間質性肺炎、肺気腫、肺線維症、気管支拡張症、気管支喘息、その他呼吸器に関する病気

! 検査項目

血液検査、腫瘍マーカー（5種類）、喀痰細胞診、呼吸機能検査、呼吸抵抗測定、胸部CT検査、胸部エックス線検査

◆ 消化器ドック ◆

月曜～金曜（9:00～12:00）1日2名様

料金：50,400円（税込み）

★所要時間：約3時間

日本人の死因の第一位は、時代と共に、結核から脳血管疾患、そして癌へと変化してきました。このうち消化器癌による死亡者数は、がん全体の死亡者数の50%を超えています。一方、消化器がんの治療は年々進歩し、現在では、早期に発見すれば根治できる病気となっております。ご自身のためにも、大切なご家族のためにも、がんの早期発見のため、1年に1度、消化器ドックを受診される事をお勧めいたします。

! 消化器ドックで見つかる病気

食道がん、食道静脈瘤、逆流性食道炎、胃がん、胃ポリープ、胃潰瘍、十二指腸胃潰瘍、ピロリ菌感染、大腸がん、肝臓がん、B型肝炎、C型肝炎、肝硬変、脂肪肝、胆嚢がん、胆嚢ポリープ、胆石症、膵臓がん、慢性膵炎

! 検査項目

血液検査、腫瘍マーカー（6種類）、便潜血検査、腹部超音波検査、腹部CT検査、腹部エックス線検査、食道・胃・十二指腸内視鏡検査

～お申込み方法・お問い合わせ先～

予約センター：TEL 042-491-2181 受付時間：平日8:30～15:00

シャトルバスの運行を開始しました

「シャトルバス」運行のお知らせ

この度、当院とJR武蔵野線新秋津駅を結ぶ、シャトルバスの運行を開始しましたのでご案内します。

1. 運行開始日 平成24年10月1日(月)より
2. 利用料金 無料
3. 利用対象者 当院を受診される患者・家族・面会者
4. 運行日 平日のみ運行(土曜、日曜、祝日は運休)
5. 乗車時にご呈示いただくもの
 - (1) 初診の方…紹介状(紹介状が無い方は受診科を乗務員にお伝えください。)
 - (2) 再診の方…当院の診察券
 - (3) 付き添い、お見舞いの方…付き添い、お見舞いの旨、乗務員にお伝えください。
6. その他 送迎バスの途中下車はできません。

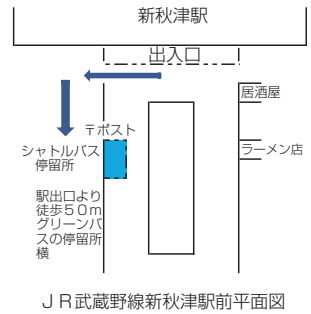
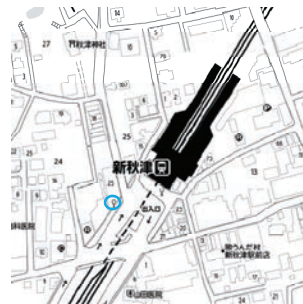
運行時刻表

発	新秋津駅	東京病院
行先	東京病院	新秋津駅
時		
7	30	50
8	10	50
9	10	50
10	10	50
11	10	50
12		
13	20	00
14	20	00
15	20	00
16	20	00
17		00
18		
	9本	10本

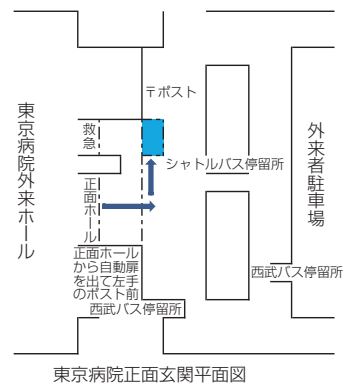


停留所配置図

JR武蔵野線新秋津駅



東京病院



停留所には時刻表を記載した乗降車標識ポールを設置します。

独立行政法人国立病院機構東京病院
電話042-491-2111

一般外来のご案内

初診受付時間を14:00まで延長しております!!

この度、当院では、外来受付時間の見直しを行い、多くの方にご利用いただけるよう、初診受付時間を現行の11時から14時に延長しました。初診で外来を受診される際は、①番窓口でお声をお掛けください。

なお、消化器内科の月、金曜は12時までの受付、診療科によっては診察を行っていない曜日がございます。ご了承ください。



外来受付時間のご案内

初診の方(診察券をお持ちでない方、初めての診療科を受けられる方)
8時30分～14時00分※

再診の方(診察券をお持ちの方)

午前の診療
8時00分～11時00分

午後の診療
12時30分～14時00分

予約のある方

予約時間までにお越し下さい。

※科によって、診察を行っていない曜日、時間帯がございます。詳しくは外来診療担当医表・休診のお知らせをご覧ください。

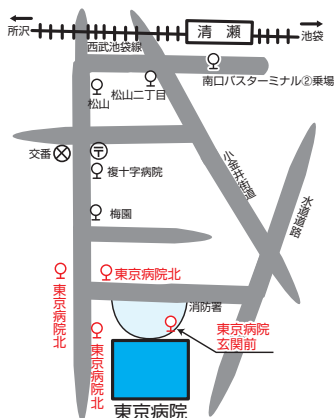
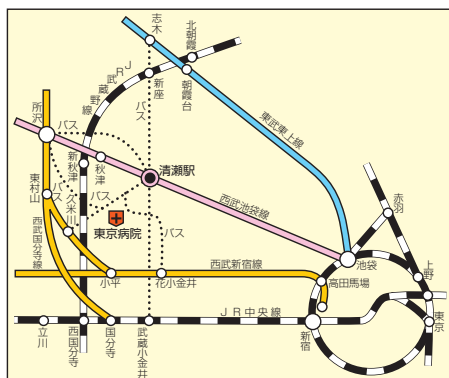
専 門 外 来 案 内

専門外来名		診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください
	禁 煙 (予約制)	火(午前)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)
呼 吸 器 関 係 外 来	肺がんセカンド オピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。 [1時間まで10,500円]
	喀 血 (予約制)	火(午後2時～)	咳をともなって気道・肺から出血する状態を喀血といいます。肺アスペルギルス症、気管支拡張症、非結核抗酸菌症、肺結核、肺癌の患者さんにおこります。ご相談ください。
	間 質 性 肺 炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。 治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
	非結核性抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。 結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	いびき COPD (睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金(午前)	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
も の わ す れ 外 来	水(午後)	最近もの忘れのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高 次 脳 機 能 外 来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など (要神経内科外来受診)。	
肝 胆 脾	金(午後)	肝臓癌、胆嚢癌、胆管癌、膵臓癌や胆石症など、肝胆脾疾患の手術のご相談、お申し込み、セカンドオピニオン等に、専門の医師が対応いたします。	
地 域 リ ハ ビ リ 相 談	木(午前)	連携医の先生方かかりつけの患者様で、運動・言語・嚥下機能に問題があり、リハビリテーションをご希望の方。(かかりつけ医の情報提供書が必要です。)	

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合 (医療機関)

外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい FAX 042-491-2125 (8:30～15:30)
CT・MRI検査の申し込み: 医療連携室へお電話下さい TEL 042-491-2934 (8:30～17:15)

交通案内



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅より無料シャトルバス約15分、タクシー約10分または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車で越しの際は正面よりお入り下さい。(駐車場265台)
30分以内 無料
31分～4時間 100円
以後 1時間毎 100円
(20時15分～7時 1時間毎300円))

WEB検索

東京病院

検索

